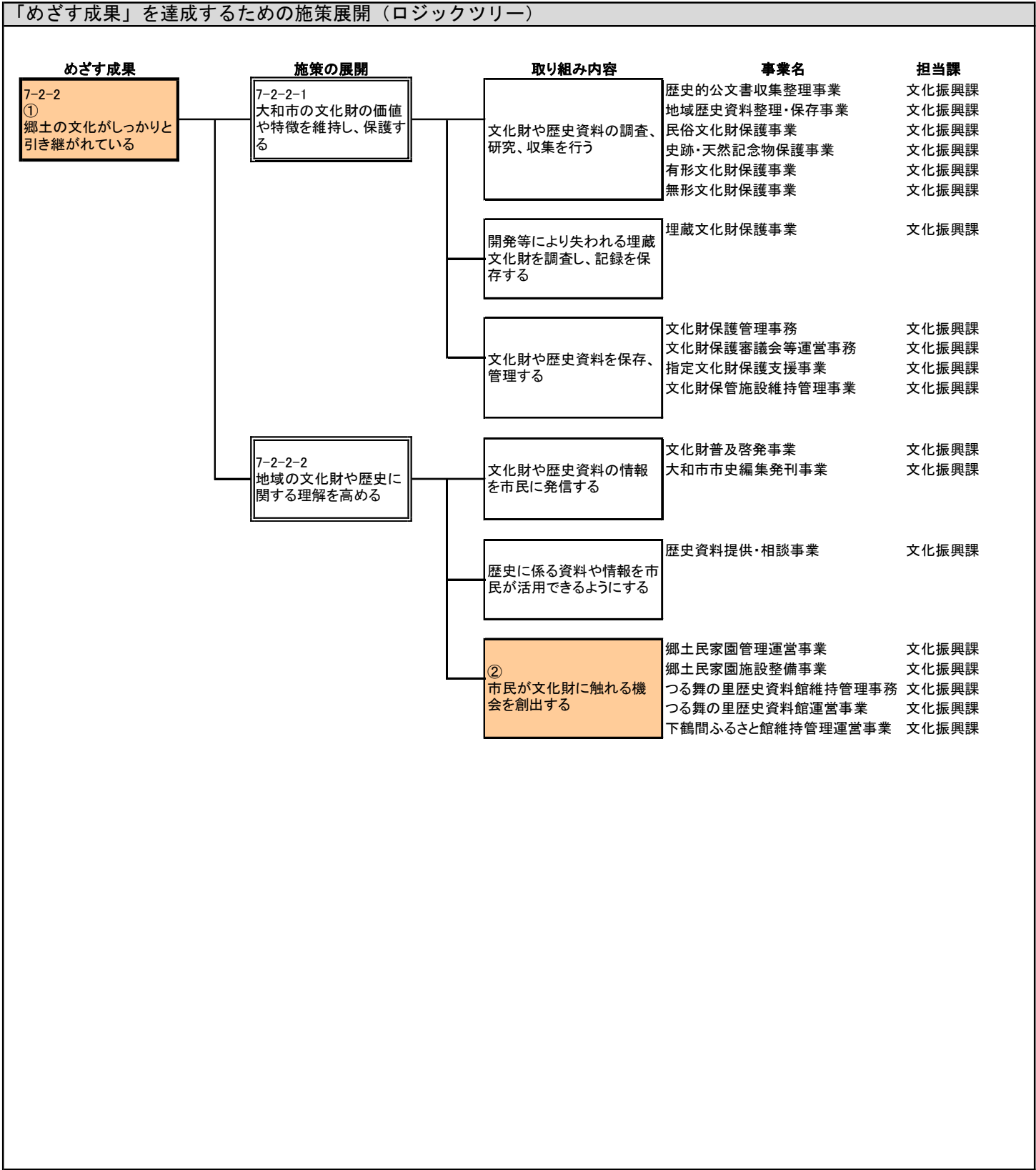


令和３年度「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
健康領域	社会の健康	
基本目標	7	豊かな心と感動が広がるまち
個別目標	7－2	薫り高い文化芸術を創造・継承する
めざす成果	7－2－1	文化や芸術に親しむ人が増えている
	7－2－2	郷土の文化がしっかりと引き継がれている



所 管 部		文化スポーツ部				
【成果を計る主な指標】						
指標の名称		前期基本計画期間（Ｒ１～Ｒ５年度）				
		計画当初値	実績値 （Ｒ１）	実績値 （Ｒ２）	中間目標値 （Ｒ３）	最終目標値 （Ｒ５）
①	大和市の歴史や文化は、 しっかりと継承されている と思う市民の割合	３８．３％			４３．５％	４５．５％
②	歴史文化施設の利用者数	５４，４４３人	４７，７６０人	３７，５１６人	６１，２００人	６１，２００人

【令和２年度までの主な取り組み内容及び今後の方針】		
施策の展開	主な取り組み内容	今後の方針
大和市の文化財の 価値や特徴を維持 し、保護する	■地域に所在する文化財や歴史資料に対する調査、研究、 収集および保存を実施しました。 ■市民が所蔵する江戸時代以降の古文書等を主な対象とす る地域歴史資料整理・保存事業では、貴重な資料を将来に わたり引き継げるよう、年300点ほどになる資料の目録作 成・翻刻・保存対策等の整理作業と合わせて、マイクロ フィルム撮影等の複製作成も年4,000コマほど実施しまし た。 ■埋蔵文化財保護事業では開発事業等に伴う試掘調査を年 15件ほど実施し、発見された遺跡については出土品や記録 を保存する本発掘調査の処置をとりました。	■市民共通の貴重な財産である文化財や歴史資料を確実に 将来に引き継ぐために現在の取り組みを継続します。 ■地域歴史資料整理・保存事業や埋蔵文化財保護事業で は、市では把握できていない歴史資料や遺跡もまだ所在す ることから、市民の理解と信頼を得ながら調査・収集を継 続する必要があります。 ■その他の文化財についても調査を継続し、地域にとって 特に重要な価値や特徴を持つものについては、市重要文化 財への指定を視野に入れた審議を文化財保護審議会で行い ます。 ■対象となる文化財や歴史資料は多様かつ多量のため、よ り効果的な事業実施手法等を検討します。
地域の文化財や歴 史に関する理解を 高める	■市民の郷土の歴史や文化財への理解・関心を高めるた め、『大和市局史』関連書籍の刊行、各種文化財の展示・公 開、歴史や文化財に関連した講座の開催、市民への歴史資 料や情報の提供等を実施しました。 ■令和2年3月には市域の歴史の中でも特徴的な事柄や市制 施行以降の年表をわかりやすくまとめた『大和市の歴史』 を刊行しました。 ■郷土民家園の市指定重要有形文化財・旧小川家住宅で令 和2年度から実施されている茅葺き屋根の全面葺き替え工 事においては、昔ながらの手法を目の当たりにできる二十 数年に一度の貴重な機会を活用した見学会・屋根職人によ る講座・写真展等を開催するとともに、工事の様子を映像 で記録しました。	■文化財や歴史資料の調査研究で得られた成果を市民に還 元する現在の取り組みを継続します。 ■つる舞の里歴史資料館ほかの文化財関連施設では、新型 コロナの感染予防の観点から事業の実施内容に対する制約 が生じていますが、感染症と民間信仰に着目して実施した 令和2年度の企画コーナー展「サバ神社と疱瘡除け」が市 民の注目を集めたことを好例とし、市民の興味・関心の動 向を適時適切に把握しながら、より効果的に文化財や歴史 を理解できる事業の実施に努めます。